

特集

リハビリテーション医の卒前卒後教育の現状—専門医制度改革を見据えて

臨床研修制度が開始されて 10 年、2014 年 5 月には専門医機構が設立されるなど医師の卒前・卒後教育に対する社会からの関心・要望も高まっています。

リハビリテーション医においては、専門医数の少なさが問題になっており、医学生や研修医がリハビリテーション医学に興味をもつような卒前教育が求められます。また、卒後教育においては、社会への説明責任を果たせるよう専門医の質を担保していくことが必要です。

そこで本特集では、専門医認定制度の動向を解説いただくとともに、現在行われている卒前・卒後教育の“ベストプラクティス”を紹介いただきました。

新専門医制度の動向 池田康夫氏……………905

新専門医制度は、専門医の質を向上させ、患者に信頼され患者視点に立った医療体制の整備をめざすものであり、2017 年に開始される。新専門医制度発足までの経緯と、制度の意義について述べたうえで、制度の概要について解説した。また新制度のもとで新設される「総合診療専門医」についても紹介した。

リハビリテーション科専門医制度の動向 芳賀信彦氏……………911

新専門医制度への移行に向けて、リハビリテーション医学会でも準備・対応を進めている。これまでの専門医制度の歴史・変遷を振り返り、新制度への準備体制を述べたうえで、主にリハビリテーション科研修プログラムについて、研修すべき疾患や症例数、研修を行う専門研修施設などについて具体的に解説した。研修プログラムの中で、専攻医の指導にあたる専門研修指導医についてもその要件を解説した。

ニュース	開業医が一時預かり一重症障害児の家族支援（さいたま）……………	909
	音声ブックに参入—アマゾン、配信を開始……………	915
	通学支援、6 割実施—厚生労働省、市町村事業を調査（障害者総合支援法）……………	922
	差別解消法、福祉事業者へ指針案—厚生労働省、障害の対応例盛り……………	941
	使える ATM78%—障害者に配慮、1,407 機関を調査（金融庁）……………	969
	「ノーマライゼーション 障害者の福祉」8 月号・特集目次……………	969

リハビリテーション医学にかかわる卒前教育 緒方敦子氏ら……………917

鹿児島大学リハビリテーション医学講座での、4～6年生の医学生に対する卒前教育の実践について紹介した。4年生では講義やチーム医療のグループ学習を、5年生の臨床実習では2週間リハビリテーションセンターに宿泊して参加型の実習を行っており、学生からは好意的な意見が寄せられている。

大学病院における卒前・卒後教育 大高洋平氏ら……………923

慶應義塾大学リハビリテーション医学講座での、学生・研修医・専修医への教育の現状を紹介し、問題点や課題を整理した。学生には講義と臨床実習を通してリハビリテーション医学の知識の習得のみでなく、医療の中でのリハビリテーション科の役割を理解してもらうことを目指している。初期臨床研修、専修医プログラムでは、大学病院での研修のみでなく、それぞれ特徴をもつ教育関連施設を研修し、医局全体の勉強会も行い、専門医取得や生涯学習をサポートしている。

総合病院における卒後教育・専門医育成 片桐伯真氏……………929

総合病院である聖隷三方原病院では、独自のリハビリテーション科研修プログラムを運営し、専門医育成をしている。2か月程度の短期プログラムで摂食嚥下機能評価を中心とした研修や、専門医育成のために他院との協力や研修会の活用などで幅広い範囲を網羅した研修も行っており、その内容を紹介した。新専門医制度を控えての、総合病院としての今後の課題についても述べた。

書評 今日の理学療法指針（評者：居村茂幸）……………934

今日から使える医療統計（評者：村岡香織）……………960

脳卒中ビジュアルテキスト（第4版）（評者：片山泰朗）……………975

お知らせ 第5回日本リハビリテーション栄養研究会学術集会……………954

第8回日本運動器疼痛学会……………969

第2回日本サルコペニア・悪液質・消耗性疾患研究会……………975